

第9回 Swedish ICT/Wireless Technology Conference 御講演者のご案内
Speech Description for the 9th Swedish ICT/Wireless Technology Conference

組織名: 総務省

講演者: 情報通信国際戦略局 課長 小笠原 陽一氏

講演タイトル: ICT分野における標準化の進め方について

URL: http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_kokusai/index.html

組織名: 東京大学

講演者: 大学院情報学環教授 坂村 健氏

講演タイトル: TRON ハウス – uID アーキテクチャーにもとづくユビキタスコンピューティングのアプリケーション

URL: http://www.sakamura-lab.org/modules/pico/index.php?content_id=1

講演概要:

坂村教授が研究を進めているユビキタス技術は身の回りのあらゆるモノにコンピュータを組み込み、それらがネットワークで結ばれ、互いに強調動作しながら、最適な環境を実現してくれる技術です。ユビキタス環境の実験のために建設した TRON House では、省エネルギーを実現するために住宅を構成するあらゆる素材からエネルギーの全体のコントロールまですべてコンピュータで制御しつつ、快適性も追求しました。この技術の背景にあるのは現実の世界の状況をコンピュータが自動認識するコンテキスト・ウェアネス技術であり、それを実現するためのインフラストラクチャが坂村教授が研究を進めている uID アーキテクチャです。すべてのモノ、場所、概念に個体識別番号を付けて、コンピュータで自動識別させ、ネットワーク中の仮想世界と現実世界を同調させることをその基本とします。この技術は業界や会社、組織の枠を超えた社会規模のオープンシステムのインフラストラクチャとして実現することで、さまざまな応用分野でイノベーションを可能にします。

企業名: Ericsson

講演者: Head of Connected Home, Ericsson Multimedia, Thomas NÄSSTRÖM 氏

講演タイトル: Connected Home

URL: <http://www.ericsson.com/jp/>

講演概要:

家庭環境において多様な機能を持つ家電機器の普及に伴い消費者にとっての複雑さはますます増大しています。消費者の為にこれらの家電機器の接続を容易にし、彼らが望む家

電機器に向けて様々なサービスを提供することができれば、それはホームネットワーク市場の競争における勝利を意味します。本講演では、消費者は何を求め、Ericssonは事業者がそのニーズにどう消費者は何を求め、Ericssonは事業者がそのニーズにどう応えていくかについて議論します。

企業名: Ericsson

講演者: Director, 50 Billion Connections program *, Andreas HESSLER 氏

講演タイトル: Connected Devices

URL: <http://www.ericsson.com/jp/>

講演概要:

家電機器の技術的な性能はますます向上し、一方でコストは一層低下することで様々なアプリケーションが現実に見えるようになり、さらにこれらの機器は相互に接続可能になりつつあります。このことはオペレーターにとって新たな収益の機会を提供するだけでなく社会に対してエネルギーや原材料をより効率的に利用し、また産業界がコストをセーブし顧客へのサービスを強化する機会をも提供しています。既に自動車、交通運輸、エネルギー、家電産業においてその効果が現れはじめています。

(*注: ネットワーク接続された機器が 2020 年までに 500 億台を超えると予測されています)

企業名: Accedo Broadband

講演者: Vice President Asia, Mark ADAMS, 氏

講演タイトル: TV 環境のための App Store

URL: <http://accedobroadband.com/>

講演概要:

Accedo Broadband は IPTV や周辺機器向けにアプリケーションやコンテンツを提供します。Accedo のアプリケーションポートフォリオは世界最大の IPTV 向けポートフォリオで、25 カ国 400 万以上の家庭でアプリケーションを運用しています。

Accedo は TV プラットフォーム向け優れたアプリケーションを世界中の消費者家電メーカー、メディア事業者、通信事業者に対して供給しています。Accedo のパートナーとして PCCW、BT、Philips、Samsung Electronics、A&E Television Networks 等が挙げられます。

Accedo はスウェーデンのベンチャーキャピタルによって支援され、通信メディア分野の企業家である Michael Lantz と Fredrik Andersson によって創業された企業です。Accedo Broadband は本社をスウェーデン、ストックホルムに置き、London、San Francisco、Hong Kong、に支社を持っています。香港はアジアにおける開発の拠点です。

企業名: Xelerated

講演者: Sales Director Japan & Korea, Mattias WULFF 氏

講演タイトル: Design by Wire Speed

URL: [http:// www.xelerated.com](http://www.xelerated.com)

企業概要:

Xelerated は次世代 ASSP ベースのキャリア向けイーサネット用チップセットの分野において世界的なリーダーです。 Xelerated のデータフローアーキテクチャーはネットワーク機器ベンダーがフルプログラマブルなキャリアクラスのシステムを構築するための決定論的なパフォーマンスを提供します。 これにより開発コストの低減、リスクの最小化、time-to-market を加速することが可能になります。 その高度にフレキシブルなネットワークプロセッサプラットフォームとリニアにスケラブルな製品及びソリューションによって Xelerated は世界中のティアワンキャリアネットワークの一部としてまたは Metro や Access 及びハイエンドのエンタープライズ市場用のコンポーネンツとして見出すことができます。 Xelerated はストックホルム、サンタクララ、テルアビブ、北京に事務所があります。

企業名: Makewave

講演者: 株式会社メイクウェーブ・ジャパン代表取締役 奥瀬 俊哉氏

講演タイトル: スマートハウスが求めるプラットフォームと情報通信ネットワークの動向

URL: <http://www.jp.makewave.com/>

講演概要:

家庭におけるインターネットの利用は新たな展開へ向け動きはじめています。 今までは、下り方向(インターネット→家庭)の利用でサービスが成立していましたがこれからは、上り方向(家庭→インターネット)のデータをデータセンターで一度収集し、同様なデータの解析を行い、利用者が求める最適なサービスをフレキシブルに行えるプラットフォームが求められます。 このプラットフォームを担う要素技術には、OSGi や TR-069 があります。 Makewave はこれらと情報通信ネットワークの動向を絡めながらスマートハウスが求める要件を解説します。